



「折れたバット」の リサイクル/アップサイクル



白鷗大学愛好会 nudge! 渡部里奈

【企画の背景】栃木県民球団との共同研究を通じ、華やかな公式戦の陰で、毎試合、少なくないバットが折れ、結果的に、大量の「折れたバット」が廃棄されている現実を目の当たりにしました。この事態を改善するべく、「折れたバット」を加工し、新たな商品に生まれ変わらせることで、限りある資源を有効活用するとともに、二酸化炭素排出削減に貢献できるのではないかと考え、栃木ゴールデンブレーブスの試合会場にて、「折れたバット」からバターナイフと靴べらを作成するワークショップを開催することとしました。

【ワークショップの概要】

- ・Deluxe cable の渡辺有樹さんにご協力いただき、実施した。
- ・バターナイフを30本、靴べら6本を在庫として準備。各10～15分程度で完成させる。
- ・折れたバットを活用するSDGsな取り組みということをアピールした。
- ・参加者募集のため、ビラ配りも実施。

【ワークショップの成果】

- ・試合が始まる前と合間の時間に、夫婦での参加や、子供連れの家族の参加が目立った。
- ・夏休みの子どもの宿題として参加される方もいらっしゃった。
- ・試合に飽きた子供と付き添いできたお母さんにも好評であった。



【ワークショップ参加者の声】

- ・子供が試合に飽きてしまっていたので、良かった。
- ・子供の夏休みの宿題にもなり、SDGsにもなる取り組みがよい。
- ・自分の好みの形に作れて、楽しい。

【ワークショップの様子】

【今後に向けて】

様々な球団によって「折れたバット」を再利用する取り組みがなされています。「折れたバット」を木材とみなして箸に加工する(かつとばし)、いわゆるリサイクルが有名ですが、バット本来の形状(グリップなど)を残しつつ、靴べらなどに生まれ変わらせるアップサイクルの事例も認められます。今後、リサイクル/アップサイクルの両面から、観客のみなさまに手に取ってもらえるような再利用を提案し、SDGsへの意識高揚につなげたいと思います。

来シーズンも、nudge!による一つのプロジェクトとして、今回実施したような参加型ワークショップの開催を継続し、とくに子どもたちに訴えかけていけたらと考えています。そのためは、Deluxe cable・渡辺有樹さんと協力しながら、ブレーブスらしい、あるいは栃木らしいリサイクル/アップサイクルの形を追求したいと強く願っています。

【折れたバットのアップサイクル・ほかには?】

- 例1) バットのグリップ部分をフライパンの取っ手に活用 例2) 積み木 <https://camp-fire.jp/projects/view/611791>
- 例3) 折れたバットからビールカップ <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230410/k10014034311000.html>